**第34回　カメイクリニック２認定再生医療等委員会　会議録**

日時：2020年9月10日　17時—18時

於：　カメイクリニック２　富山県高岡市京田４４１－１

出席委員：鏡森定信a2男、井川祐一a1男、亀井康二a1男、山本毅b男、　　　　　本田ゆかりc女、上田順子c女の各委員

**委員会の成立**

必要な６人の委員の出席をもって本委員会は成立した。

**審議内容の要約**

議題：　行徳形成外科　行徳　博英院長より提出された再生医療等提供状況定期報告（2019年9月3日から2020年9月2日）

（2020年9月2日付）の審査。

委員長：行徳形成外科の審査をお願いします。ここは５回目の定期報告です。安全性に関してはどうでしょうか。

B委員：１年間で１５例１７件の治療がなされていて、術後の追跡がきちんとなされていますね。症例数の減少についてはコロナウイルスの影響とされています。

D委員：全身的な副作用や合併症を認めず、アレルギー反応や異物反応の発生も無いようです。他の有害事象も全く発生していないようです。

E委員：患者側からの訴え、クレームもほとんど無いようですね。

　　　　ここは控え目な注入をされていて、それによってトラブルを防ぐ方針のようです。

委員長：１５例１７件の症例に対して施術して大きな副作用や苦情もないことから、このクリニックの治療は安全な医療として行われていると評価していいでしょうか。

全委員が承諾した。

委員長：つぎに科学的妥当性に関してはどうでしょうか。

A委員：治療の達成度はほぼ全例に得られていますね。まれに注入不足を訴える例があったようです。

C委員：ほぼ全例で改善しているようですが、フィブラストの使用は少ないですね。

A委員：治療効果はほぼ全例で得られており、患者の満足度は高いですね。

　　　　また、１～５年後に再度注入を希望される方が多いことから治療の効果、満足度の高いことがうかがわれる。

E委員：ほぼ全例で他の方法より優れているとの評価であり、患者満足度も高く、このクリニックの治療は科学的にも妥当としていいのではないか。

委員長：治療による改善度や治療目標に対する達成度がほぼ得られており、科学的にも妥当な治療と評価していいであろう。この報告を適としていいですか。

全委員が賛成した。

　　　　　（2020年9月10日　カメイクリニック２認定再生医療等委員会）